

パワーアンプ WP-9150/9300/9600

■概要

パネル高さ 2 U(約88mm)の大出力パワーアンプです。モード切り換えにより、ステレオ、モノラル、BTLの接続が可能です。また、ホール用音響設備などに必要な調整室でのアンプ動作監視用にモニター出力、タリー出力用のモニター端子と、さらに多彩な制御や監視を可能にするリモート端子を装備しています。各パワーアンプの出力は以下のとおりです。

- WP-9150 : 出力150 W + 150 W(8 Ω 20 Hz ~ 20 kHz、ひずみ率0.1 %以下)
BTL接続で400 Wの出力が得られます。
- WP-9300 : 出力300 W + 300 W(8 Ω 20 Hz ~ 20 kHz、ひずみ率0.1 %以下)
BTL接続で800 Wの出力が得られます。
- WP-9600 : 出力600 W + 600 W(8 Ω 20 Hz ~ 20 kHz、ひずみ率0.1 %以下)
BTL接続で1600 Wの出力が得られます。

■定格

| | | WP-9150 | WP-9300 | WP-9600 |
|----------------------|-----|---|---------------|---------------|
| 電源 | | AC100 V 50/60 Hz | | |
| 消費電力 (注) | | 340 W | 555 W | 965 W |
| 定格消費電力(4 Ω 定格出力時) | | 1100 W | 2000 W | 3400 W |
| 定格消費電力(8 Ω 定格出力時) | | 700 W | 1300 W | 2300 W |
| 定格出力 | 8 Ω | 150 W + 150 W | 300 W + 300 W | 600 W + 600 W |
| | 4 Ω | 200 W + 200 W | 400 W + 400 W | 800 W + 800 W |
| BTL出力(8 Ω) | | 400 W | 800 W | 1600 W |
| 周波数特性 | | 20 Hz ~ 20 kHz ± 0.5 dB | | |
| 全高調波ひずみ率 | | 0.1 %以下(両チャンネル駆動時 8Ω 負荷) | | |
| クロストーク | | -60 dB以下(20 kHz)、-80 dB以下(1 kHz) | | |
| 混変調ひずみ率 | | 0.1 %以下(8 Ω 定格 60 Hz : 7 kHz = 4 : 1) | | |
| ダンピングファクタ | | 400以上(8 Ω 1 kHz) | | |
| SN比 | | 105 dB以上(IHF Aフィルタ使用時) | | |
| 入力感度 | | + 4 dB | | |
| 電圧増幅度(ゲイン切換 : 0 dB時) | | + 29 dB | + 32 dB | + 35 dB |
| 入力インピーダンス | | 20 kΩ 平衡 | | |
| モニター 入出力 * 1 | 出力 | VUメータ + 14 dB(7.5 kΩ 適合)/8 Ω 定格出力時 | | |
| | 入力 | タリー NPNオープンコレクタ(最大DC30 V、10 mA) | | |
| リモート 入出力 * 2 | 入力 | ミュート制御端子 無電圧メイク接点 | | |
| | 出力 | 出力レベル + 14 dB(7.5 kΩ 適合)/8 Ω 定格出力時 | | |
| | 出力 | クリップ NPNオープンコレクタ(最大DC30 V、10 mA) | | |
| | 出力 | 出力リレー NPNオープンコレクタ(最大DC30 V、10 mA) | | |
| | 出力 | 過負荷 NPNオープンコレクタ(最大DC30 V、10 mA) | | |
| | 出力 | 放熱器過温度上昇 NPNオープンコレクタ(最大DC30 V、10 mA) | | |
| | 出力 | 電源ON NPNオープンコレクタ(最大DC30 V、10 mA) | | |
| | 出力 | 2次DC電源電圧 DC+5 V(7.5 kΩ 適合) | | |
| 使用 コネクタ | 入力 | ミュート制御端子 無電圧メイク接点 | | |
| | 出力 | 電源制御端子 無電圧メイク接点 | | |
| 寸法 | 入力 | キャノンタイプコネクタ(オス、メス)および大形複式ジャック(並列接続) | | |
| | 出力 | バイディングポスト | | |
| 質量 | | 約 17 kg | 約 19 kg | 約 23.5 kg |
| 仕上げ | パネル | 黒色アルマイトヘアライン(マンセルN1近似色) | | |
| | 本体 | 黒色塗装鋼板(マンセルN1近似色) | | |

(注) この表示は、「電気用品安全法技術基準」に基づくものです。

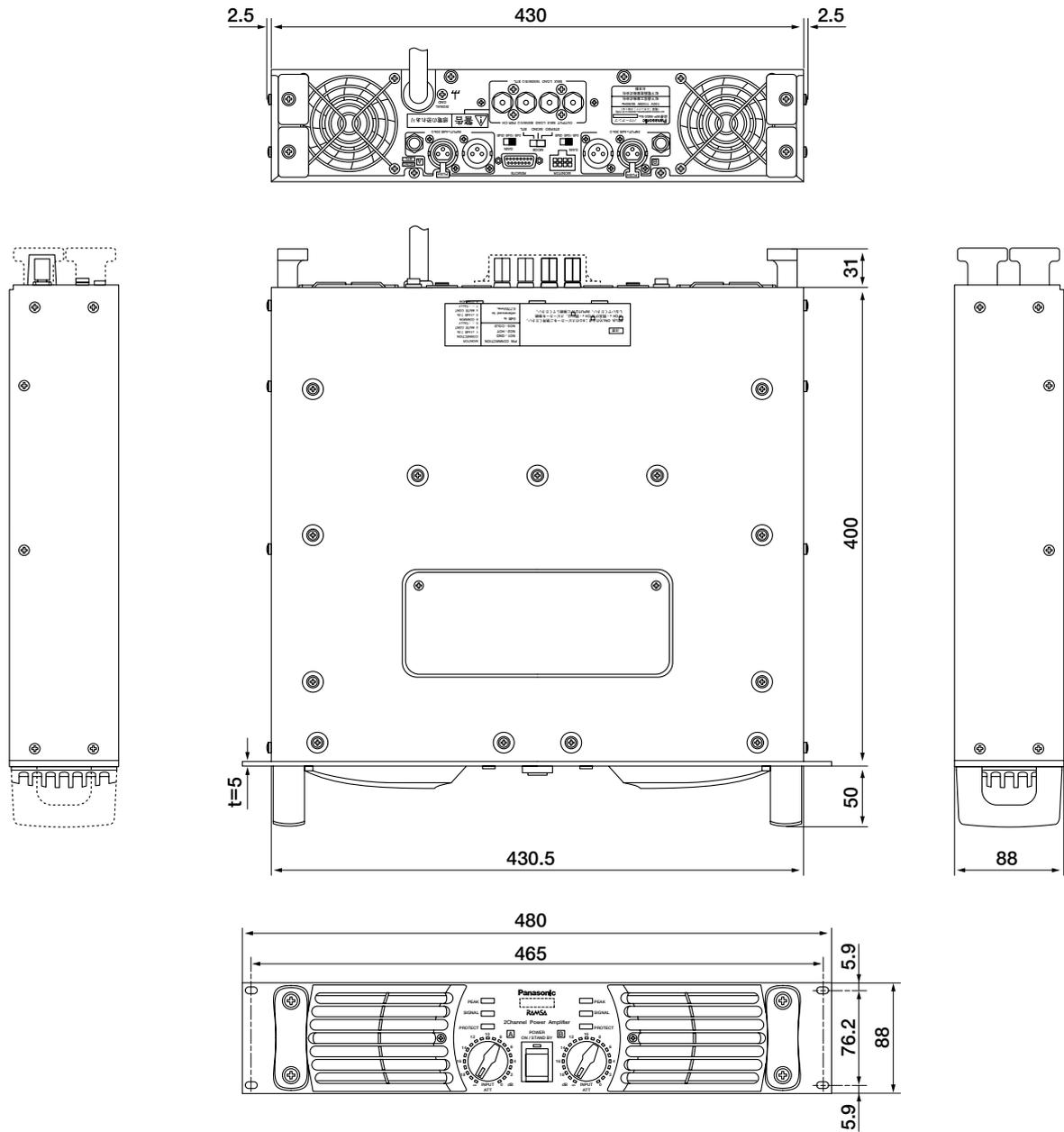
※ スタンバイ時でも、1 Wの電力を消費しています。

*1…コネクタ付属 *2…D-sub15ピンコネクタ

■付属品

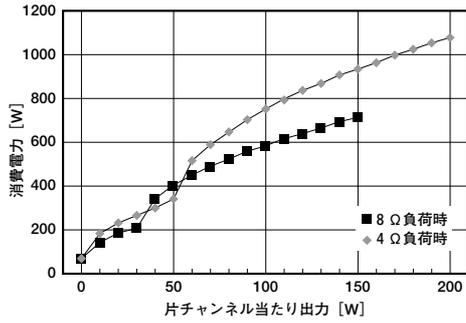
| | | | |
|-------------|--------|-------|--------|
| モニター出力用コネクタ |1 | 取扱説明書 |1 |
| フィルタ |2 | 保証書 |1 |
| ラベル |1 | | |

■外觀寸法図 (単位：mm)

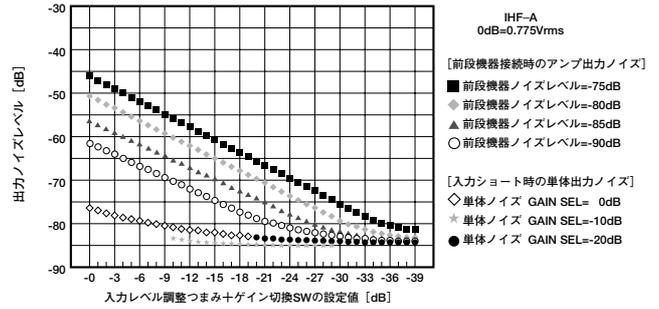


●WP-9150

消費電力特性

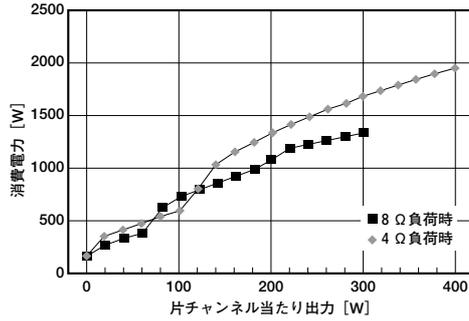


出力ノイズ特性(ゲイン設定と出力ノイズレベルとの関係)

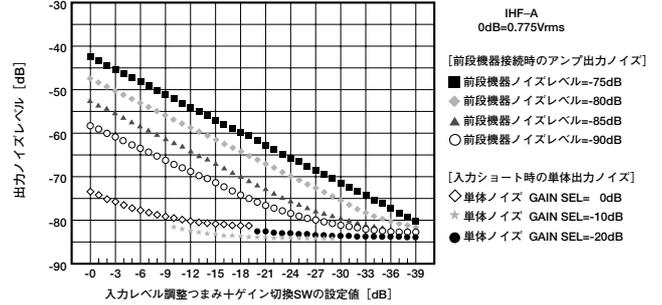


●WP-9300

消費電力特性

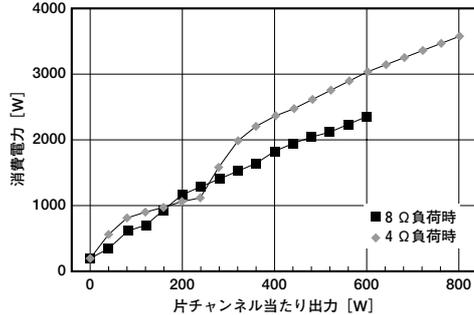


出力ノイズ特性(ゲイン設定と出力ノイズレベルとの関係)

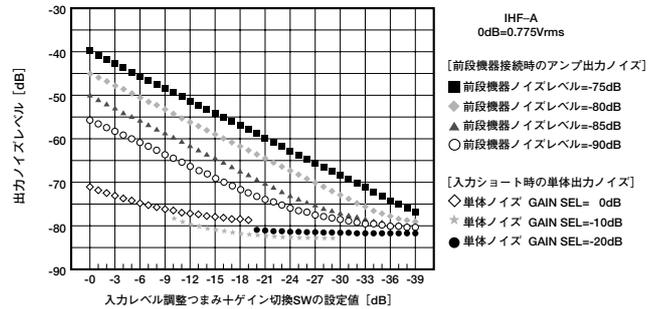


●WP-9600

消費電力特性

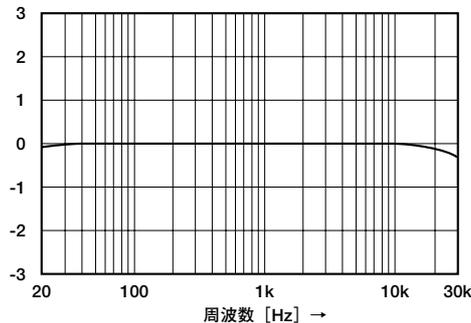


出力ノイズ特性(ゲイン設定と出力ノイズレベルとの関係)



●各機種共通

周波数特性

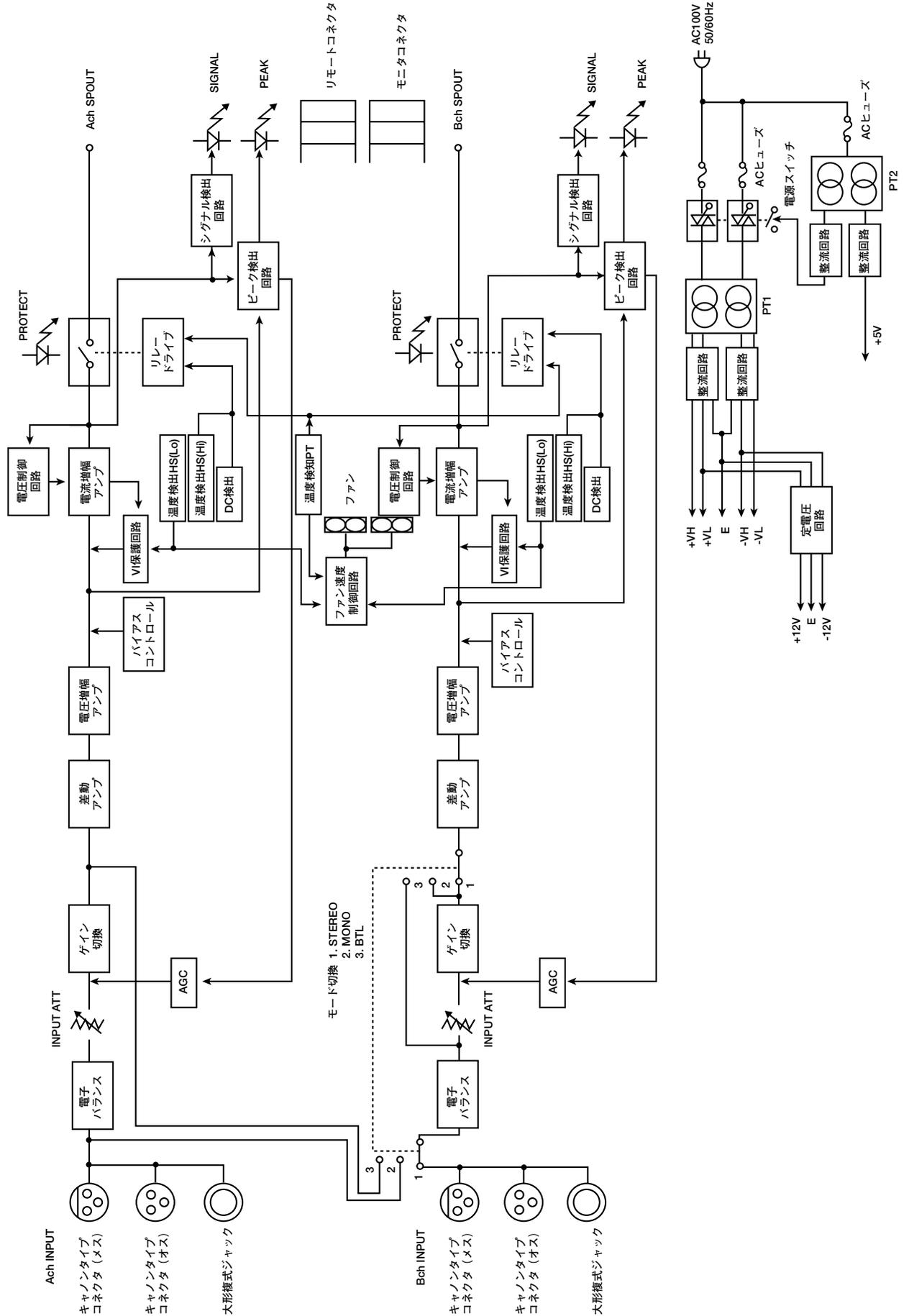


入力レベル調整つまみ、ゲイン切換スイッチの設定について

入力レベル調整つまみ、ゲイン切換スイッチの設定により、スピーカーからの残留ノイズを低減させることができます。

- ・本機自身の残留出力ノイズは比較的小さいレベルですから、出力ノイズレベルは、ほぼ入力側に接続する機器の残留ノイズで決まります。入力レベル調整つまみおよびゲイン切換スイッチで本機のゲインを可変することにより、上記出力ノイズ特性に示すように入力側に接続される機器の残留ノイズを減少させることができます。
- ・スピーカーからの残留ノイズを減少させ、高いS/N比を確保するためには、入力側機器の音量レベルをクリップしない範囲でできるだけ大きく設定し、本機のゲインを極力小さくするように各機器のレベル調整をすることがひとつのポイントです。

■ブロックダイアグラム



●リモート部

